

SICF20 グランプリアーティスト展

タナカマコト「切りひらひらく」

会期 2020年1月6日(月) - 12日(日)

会場 ショウケース (スパイラル 1F)

ユーモアと緻密で高度な技術が織りなす切り絵の世界。



《タダのカミ様》(2019)「SICF20」 グランプリ受賞作品 Photo: TADA (YUKAI)

スパイラルは、本年5月に開催した SICF20 (第20回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル) に於いて出展クリエイター150組の中からグランプリに選ばれたアーティスト、タナカマコトによる個展「切りひらひらく」を2020年1月6日(月) - 12日(日)にショウケース (スパイラル 1F) にて開催します。

グランプリ受賞作《タダのカミ様》は、自身が生活を送る上で得たレシートをメディアとして、そこに印字された商品名や店名など一部の言葉を残しながら、その言葉の意味から連想された形の神様を多種多様に切り出した作品です。緻密で高度な切り絵の技術はもとより、人間の欲望の証拠とも言えるレシートを神様のフォルムにして浄化するといった、媒体のもつ意味と形の関連づけの独自性が評価され、グランプリを受賞しました。

本展では、3歳の娘への語り聞かせから生まれた創作童話をモチーフに、会場いっばいに広がる切り絵のインスタレーションの新作を発表します。

アーティストとして精力的に個展を開催するほか、MVやTV制作など、さまざまな場面で切り絵の可能性を広げる、期待の若手クリエイターによる東京・青山での初個展、ぜひお楽しみください。

この機会にぜひご取材、ご掲載を検討くださいますよう、よろしく願いいたします。

ご掲載に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 浅野仁美
〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23
TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848

E-mail press@spiral.co.jp SPIRAL WEB <http://www.spiral.co.jp/>

本展の見どころ



本展作品一部

本展タイトル「切りひらひらく」は、毎晩、即興の創作童話を3歳の娘へ語り聞かせるという作家本人のエピソードをもとにしています。さまざまな動物や人物が登場し、紆余曲折する物語は、一見まとまりのない話のように聞こえますが、最後に娘は満足して眠りにつきます。それは、未知なる完成形に期待を膨らませ、下書きをせずフリーハンドで作品を切り開いてきたタナカ制作態度とも重なっています。

本展では、タナカの語り聞かせた言葉の集積として広辞苑を、即興で生まれるちぐはぐな物語の象徴として文庫本を媒体に、それらのページを魔女の顔や鳥、葉っぱなどさまざま形に切り抜き繋げた、幅180cm、高さ300cmの樹木が会場に登場します。会場全体に「ひらひら」と広がる緻密な切り絵と、残された言葉が紡ぐ童話の世界をお愉しみください。

SICF20 審査員コメント

金澤韻（現代美術キュレーター）

最初は、よく見かける、ゴミを利用した手癖のアートか…としましたが、印字された文字を活かしながら切っていると聞いて見方が変わりました。買ったものがわかって、それが形にもなっている切り絵は生々しく、作家が「カミ」と称したように、ある種の美と意味が溶け合い、靈感をまとうものへと変化しています。

倉本美津留（放送作家）

人間の欲望の証拠とも言えるレシートを神様のフォルムにして浄化する行為。紙を神に。面白い。フォルムはそのレシートに宿りし神だ。大喜利である。買った商品の名称をしっかりと残り切り絵して行く。なんの神であるかは、出来上がった形状と切り残した印刷文字によって一目瞭然となる。消費の種類の数だけ神様は存在する。タナカの切り絵によってその神々がこの世に出現して行くのだ。着想のセンスの良さと技術力を兼ね備えた作品。作家が制作を生涯し続けることで現代の八百万の神の全員の姿が可視化するかもしれない。そんなことに期待を寄せてグランプリに推した。

プロフィール



タナカマコト tanaka macoto

1982年生まれ。2006年東京工芸大学芸術学部映像学科卒業。下書きなしのフリーハンドで切り絵を制作、レシートや書籍に印字された言葉を残しながら形を切り抜いたり、写真を切り抜くことで、媒体のもつ意味と切り抜かれた形を関連づける独自のスタイルで活躍する。

主な受賞に、「汐博2010」シオサイト賞。主な個展に、「変身-henshin-」（2018年、サンシャイン展望台 SKY CIRCUS、東京）、「変身-henshin-」（2016年、GALLARDAGALANTE、京都）。そのほか、ナオト・インティライミ《しおり》MV制作（2018年）、ニトリ TVCM（X'mas篇）制作（2014年）、MAJOLICA MAJORCA10周年記念スペシャルムービー制作（2013年）など、さまざまな場面で活躍の場を拡げている。

参考作品：タナカマコト 過去作品



《henshin-变身-》(2016)



《ギジンカ》(2016)



《名画を切る モナリザ》(2014)



ニトリ TVCM (X'mas) 篇 (2014)

開催概要

SICF20 グランプリアーティスト展 タナカマコト「切りひらひらく」

会期 2020年1月6日(月) — 12日(日) 11:00—20:00 会期中無休

会場 ショウケース (スパイラル 1F)

東京都港区南青山 5-6-23

東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1、B3 出口すぐ

お問い合わせ 03-3498-1171 (スパイラル代表)

入場 無料

主催 株式会社ワコールアートセンター

企画制作 スパイラル

SICF (スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)



スパイラルが若手作家の発掘・育成・支援を目的として2000年から開催しているアートフェスティバル。ゴールデンウィーク期間中、公募によって選出された、さまざまなジャンルのクリエイターを紹介しています。2020年5月に開催予定の「SICF21」の応募要項については、12月中旬に発表する予定です。

Photo: TADA (YUKAI)

SICF20 受賞者一覧

グランプリ：タナカマコト

準グランプリ：京森康平

準グランプリ：奥直子

アストリッド・クライン賞：花山ちひろ

金澤韻賞：森田葵衣

倉本美津留賞：鈴木知佳

菅野薫賞：日辻

MINA-TO 賞：齊藤萌々子

ワコールスタディホール京都奨励賞：韻を踏む

スパイラル奨励賞：村尾拓美

オーディエンス賞：本多大和